

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公表番号】特表 2003-535004 (P2003-535004A)

【公表日】平成 15 年 11 月 25 日 (2003.11.25)

【出願番号】特願 2001-515264 (P2001-515264)

【国際特許分類】

**C 0 3 C 17/245 (2006.01)**

**C 0 3 C 27/06 (2006.01)**

**E 0 6 B 3/66 (2006.01)**

**E 0 6 B 5/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 3 C 17/245 Z

C 0 3 C 27/06 1 0 1 H

E 0 6 B 3/66

E 0 6 B 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 20 日 (2007.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

本発明のコーティングガラス製品は、建築物の窓ガラスとして理想的である。例えば、このコーティングガラス製品を断熱ガラスユニットに用いることも可能である。従って、本発明のコーティングガラス製品は、建築物への適用に適した断熱ガラスユニット 4 3 の外面部分 (outoboard lite) 4 5 として図 3 に例示されている。断熱ガラスユニット 4 3 はまた、周知の方式でフレーム (図示せず) によって外面部分 4 5 から離間して保持されているガラス製品から成る内面部分 (inboard lite) 5 0 を含む。本発明のガラス基板 4 7 は建築物の外側を向くように用いられる。本発明の多層コーティング 4 9 は、外面部分 4 4 と内側部分 5 0 とを隔てている空気隙間 5 1 に面している。